

ジョークレジット制度を用いた
「エアコン環境貢献プログラム」
の取り組み

2025年10月21日

パナソニック株式会社 空質空調社

パナソニックホールディングス株式会社

パナソニック株式会社

空質空調社

中国・北東アジア社

くらしアプライアンス社

コールドチェーンソリューションズ社

エレクトリックワークス社

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック インダストリー株式会社

パナソニック エナジー株式会社

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社

企画本部

直轄部門

A2W & 水ソリューションズ事業部

水ソリューションズビジネスユニット

エアコン事業部

パナソニック エコシステムズ株式会社
IAQ事業部

CAC事業部

空調デバイス事業部

光学デバイスビジネスユニット

関係会社

パナソニック環境エンジニアリング株式会社

パナソニック産機システムズ株式会社※

パナソニックAP空調・冷設機器株式会社※

※空質空調・食品流通グループ傘下

環境テクノロジーの更なる革新と融合により、差別化要素を研ぎ澄ませ、社会・顧客起点で新たなモノ・コトを創出

空質事業

空調事業

■ 換気送風機器



換気扇 レンジフード 熱交換気ユニット

■ 空質家電



次亜塩素酸
空間除菌脱臭機
(ジアイーン)
空気清浄機 扇風機
業務用空質空調
連携システム

■ 電気空調



ルームエアコン
(RAC)
オフィス・店舗用エアコン
(PAC)
ビル用マルチエアコン
(VRF)
電気チャラー

■ 環境エンジニアリング



全館空調熱交換システム
(ウイズエア)



バス換気乾燥機



トンネル
換気浄化



酪農・養鶏用
換気



薬液再生・供給



天井扇



除湿機



加湿機



セントラル
水浄化
システム



水浄化機器



ポンプ

■ ガス空調・吸収式冷凍機



ガスヒートポンプ
エアコン (GHP)



吸収式冷凍機
(ナチュラルチャラー)



ヒートポンプ
給湯機

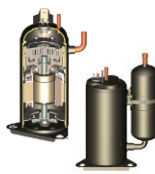


ヒートポンプ式
温水給湯暖房機
(A2W)

■ 温水システム



ホームシャワー



コンプレッサー

■ デバイス

商品・システム

コア技術

水浄化

集塵

脱臭

除菌

ファン

フィルタ

モーター

センシング&
解析・制御

気流制御

湿度制御

熱交換

温度制御

ヒートポンプ

インバーター

IoT

クリーン
システム

Mission

Life Tech & Ideas

人・社会・地球を健やかにする。

Vision

空気と水のテクノロジーで、健康で快適な暮らしと社会を創造する、
グローバルトップクラスのプロフェッショナルカンパニー

空気から、未来を変える。

人と地球の健やかさが求められている今、
空気こそが未来を変えるチカラになると
私たちは信じています。

100年を超える空気の研究に、
水のテクノロジーをかけ合わせて、
無限の可能性を引き出す。

きれいな空気と水で満たされた
健康な暮らしと持続可能な環境を創っていく。
すべては、人と地球の未来のために。



空質空調社は呼吸するもの全てに、
空気の未来基準を発明し、未来を見据えて
新しい価値を提供していきます。
常にみなさまと向き合い、共に新たな価値を創出し、
安心・安全、心豊かで、持続可能なよりよい社会
を実現します。

空気から、健やかな地球を。

省エネや水を活用した
自然に優しい技術でCO₂排出量を削減し、
脱炭素社会の実現に貢献します。

空気から、安心安全を。

空気と水のクリーンテクノロジーで
菌やウイルス、アレルギー物質などを抑制し、
健康な毎日をサポートします。

空気から、社会に活力を。

空気と水をコントロールする技術で
ストレスを軽減し、快適な暮らしを追求しま
す。

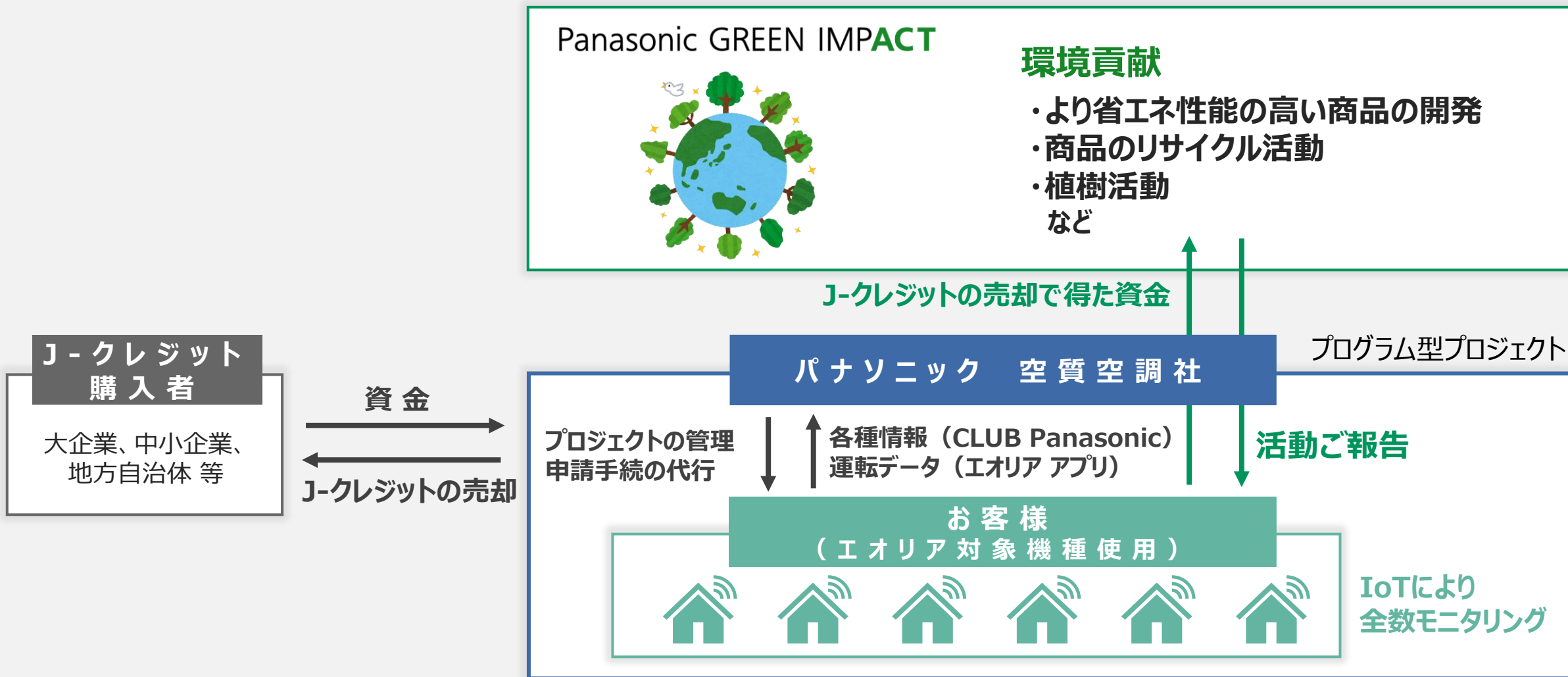


エアコン環境貢献プログラムの概要

6

- ・各家庭で創出されるJ-クレジットの売却資金を環境貢献に活用する。
- ・環境貢献活動をお客様にご報告することで環境負荷低減に貢献していることを感じていただく。

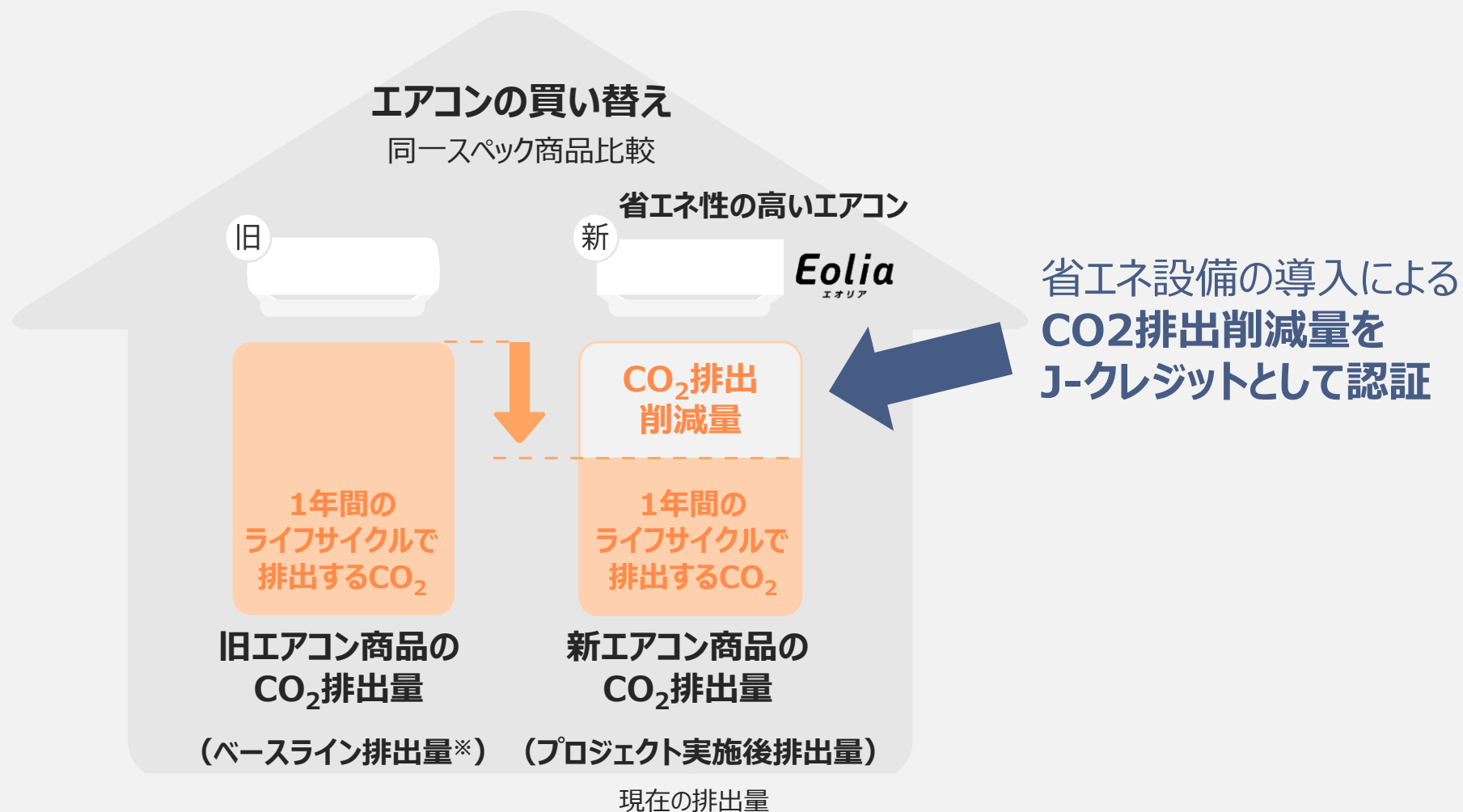
※エオリアユーザー様アンケート結果を参考に環境貢献の内容を検討



エアコン環境貢献プログラムで創出するJ-クレジット

7

- ・エアコンは、一般家庭で消費電力量が多い家電のトップ5に入る。
- ・省エネ性の高い家庭用エアコンの導入によるCO₂排出削減量をJ-クレジット化。



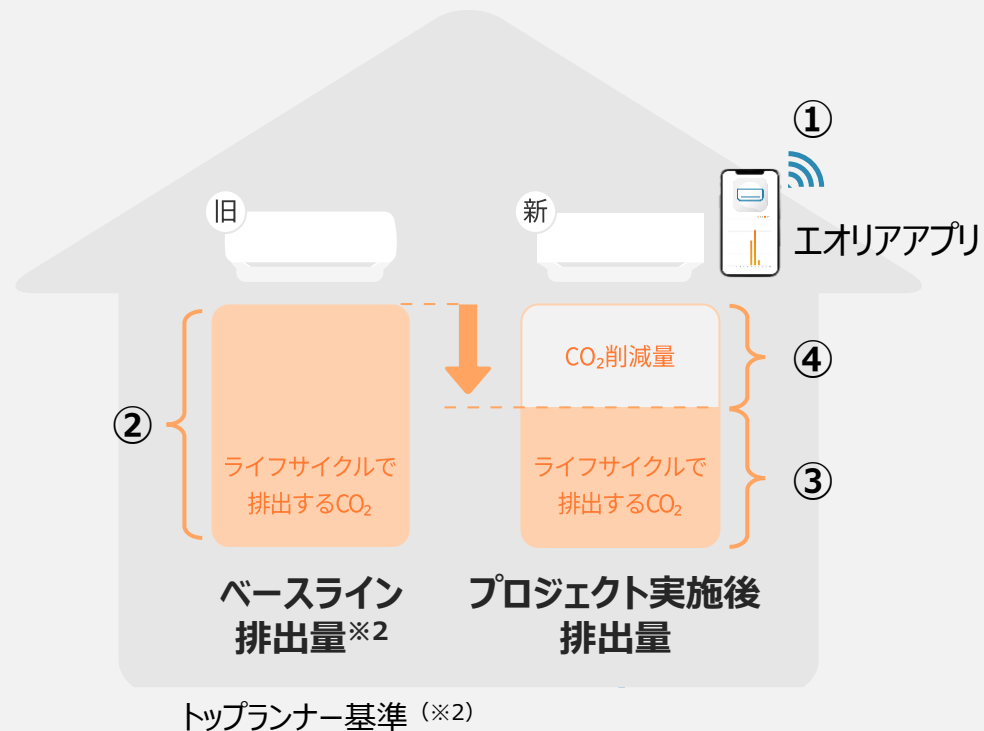
※ベースライン排出量：
新エアコンと同じように旧エアコンを利用した場合に想定される排出量
本取組みでは、トップランナー基準をベースラインとしている。

現在の排出量

参考) 家庭用エアコン 1 台あたりのCO₂排出削減量

8

・エアコン一台あたりのCO₂排出削減量は年間で0.1[t-CO₂]程度。(最上位機種の場合)



【試算条件】

※1 期間消費電力
→実際はお客様のエアコンの実測値を取得。
今回は、期間消費電力量の算出基準で概算。

・外気温度：東京をモデルとしています。
・室内設定温度：冷房時27℃/暖房時20℃
・期間：冷房期間（5月23日～10月4日）
暖房期間（11月8日～4月16日）
・使用時間：6：00～24：00の18時間
・住宅：JISC9612による平均的な木造住宅（南向き）
・部屋の広さ：機種に見合った部屋の広さ

※2 エネルギー消費効率
当社CS-LX564D2モデル：6.4
トッランナー基準（線形補間済み）：5.8

※3 排出係数 (kg-CO₂/kWh)：0.632
2023年度 限界電源のデフォルト値
出所：J-クレジット制度 モニタリング・算定規程
排出削減・除去プロジェクト用 Ver.5.4

※4 一例で林齢50年のスギの人工林、
1ヘクタールあたりの本数は900本で、
蓄えられている炭素の量は約170トンとして試算。
CO₂に換算すると、1本が1年に取り込む量は約14kg。

例) CS-LX564D2モデル（24年モデルの最上位機種の場合）

①「エオリア アプリ」を用いて、期間消費電力量を取得

1,655 [kWh] (※1)

②ベースラインの排出量を算定

1.15 [t-CO₂]

= 1,655[kWh] × (6.4/5.8) (※2) × 0.632 [kg-CO₂/kWh] (※3)

③プロジェクト実施後の排出量を算定

1.05 [t-CO₂]

= 1,655 [kWh] × 0.632 [kg-CO₂/kWh]

④CO₂排出削減量を算定

0.10 [t-CO₂] ← スギの木 約7本分の年間 CO₂吸収量相当 (※4)

= 1.15 [t-CO₂] - 1.05 [t-CO₂]

※排出量はJ-クレジット制度の方法論「空調設備の導入（EN-S-004）」に基づいて算定。

プロジェクト登録とクレジット認証について

- ・プロジェクトの登録とモニタリング（削減量を算定するための計測等）の2ステップ
- ・各審査には数十万円の費用が発生

プロジェクト登録

①J-クレジット制度への参加検討。
プロジェクト計画書の作成

↓
設備情報や燃料使用量等のデータから、排出削減計画
やプロジェクト登録要件等をプロジェクト計画書に記載。

②プロジェクト計画書の妥当性確認

↓
計画書の記載に誤りがないか、設備は適切に
稼働しているか等の妥当性を審査機関が確認

③プロジェクト登録の申請

④プロジェクト登録に関する審議（認証委員会）

プロジェクト登録

クレジット認証

①データのモニタリング、収集。
モニタリング報告書の作成

↓
プロジェクト計画書に従い、必要データのモニタリング・
収集を実施。排出削減量を算定し、報告書に記載。

②モニタリング報告書の検証

↓
報告書の記載に誤りがないか、設備は適切に
稼働しているか、認証量等を審査機関が確認

③クレジット認証申請

④クレジット認証に関する審議（認証委員会）

クレジット認証

審査費用の推移

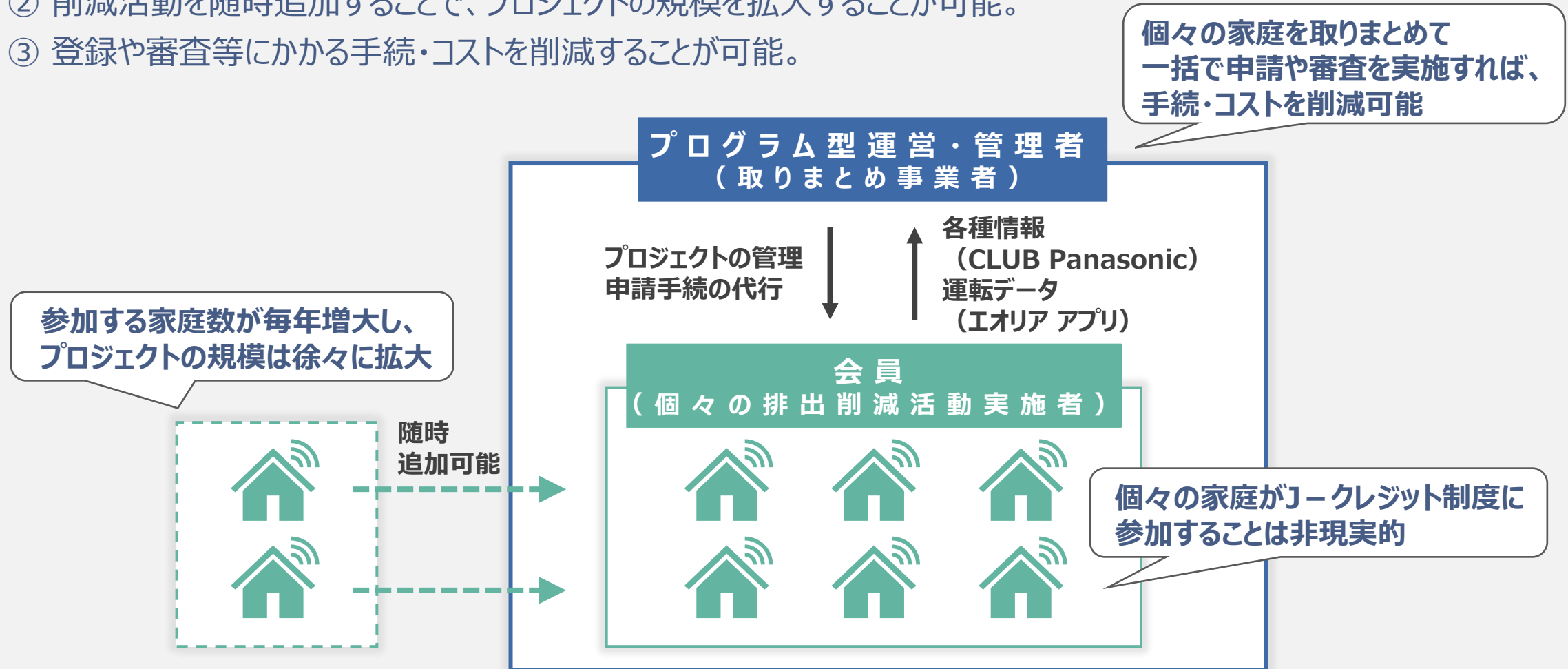
プロジェクト種別		審査内容	平均額※1
省エネ	通常型	妥当性確認	580,823
		検証	626,841
	プログラム型	妥当性確認	754,383
		検証	790,658

※1：2021年度から2023年度の
審査費用支援申請案件における審査費用の平均値。

出所：申請手続の流れ | J-クレジット制度
(japancredit.go.jp)

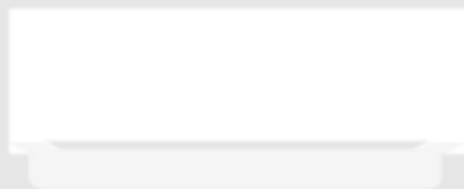
・家庭用の小規模な削減活動を取りまとめて一括でＪ－クレジットを創出する。

- ① 単独では非現実的な小規模な削減活動からＪ－クレジットを創出することが可能。
- ② 削減活動を随時追加することで、プロジェクトの規模を拡大することが可能。
- ③ 登録や審査等にかかる手続・コストを削減することが可能。



・本プログラム参加条件は、下記の3つの条件を満たすこと

- ①「エオリア対象機種を使用している」 ➡ トップランナー基準よりも省エネ性能の高い機種
- ②「エオリア アプリを利用している」 ➡ 消費電力量からCO₂排出削減量を算定
- ③「CLUB Panasonic 登録している」 ➡ 参加者の顧客情報管理



☒ エオリア対象機種を
使用している



☒ エオリアアプリを
利用している

CLUB Panasonic

☒ クラブパナソニックへ
登録している

エオリアアプリのお知らせ通知



本プログラム紹介Webサイト



CLUB Panasonic サイトで参加許諾



ご利用規約の許諾後、
必要情報を登録して本プログラムへ参加

- ・エオリアユーザー様をご招待し、環境省の定める「自然共生サイト」として認定されている、ユニットピアささやまの里山再生エリアで植樹活動を開催予定。



ユニットピアささやま：

1973年に松下電器産業労働組合（現パナソニックグループ労働組合連合会）が、山や川、里山や農地など、多種多様な生きものが住む自然環境ゆたかな丹波篠山の地に、「自らの手で自然を守り、大自然の中で人間性の回復や連帯性を高める憩いの場」として開村した休暇村。27万平方メートルの広大な敷地には、湖畔に建つ宿泊棟や隣接する研修棟に加え、自然の山間（やまあい）に様々なアクティビティが楽しめるスペースを有し、家族や友人との行楽や学校行事、企業や団体の研修など自然との繋がりを満喫しながら、多目的に利用できる宿泊施設。「里山再生エリア」は、「ユニットピアささやま」が開村する前に存在した里山を蘇らせることを目的に、2012年から「パナソニック エコリレー ジャパン」がボランティアと共に、雑木林や棚田、小川の再生などに取り組んでいる場所で、環境保全指導者の養成研修などのフィールドとしても活用されている。

Panasonic

空 気 から、未 来 を 変 え る。

ご清聴ありがとうございました。

